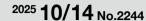
毎月第2・第4火曜日発行

# 下文学を 一神奈川政経懇話会一 かながわ



疾走する馬上から的を射る「流鏑馬神事」が9月16日、鎌倉市の鶴岡八幡宮で2年ぶりに行われ、人馬一体の妙技に観客から拍手が起こった。昨年は練習中に落馬事故が起き、中止になった。



# 政経かながわ

### contents

視点点描	3
選挙は最後まで分からない	J
特集	4
 「静かな退職」とは	4
~企業はどのように向き合っていくべきか~	
経済双眼鏡	8
ドラマチックな舞台裏	O
ブレトンウッズ協定	
よんななエコノミー	9
たかが入場料、されど入場料	J
中カツ!通信	10
金価格の下落が必要なワケ	10
蝶花楼桃花のNEWS箸休め	11
「こういう男は	11
気をつけないと」	
くらし2025	12
体は優等生、でも心は?	14
日本の子ども、高い自殺率	
ユニセフ「幸福度調査」	
かながわTODAY	14
9月の主な経済ニュース	11

## 事務局だより

### ◇2025年11月定例講演会

11月19日(水)

午後1時30分~3時

崎陽軒本店(横浜駅東口) 講師:ありあけ取締役会長

藤木 久三氏

演題: \*なるほど! 感動カンパ

ニー、への挑戦 〜逆境を生き抜くプラス発想〜

### ◇2025年12月定例講演会 (シンポジウム・会員交流会)

12月15日(月)

午前11時~午後1時30分 ロイヤルホールヨコハマ(横浜 市中区)

講師:共同通信社政治・経済・

外信部長など

演題:2026年の動向を読む

### ◇2026年1月定例講演会

1月15日(木)

午後1時30分~午後3時 神奈川新聞社12階大会議室(横 浜市中区)

講師:文芸評論家 三宅香帆氏

演題:なぜ働いていると本が読

めなくなるのか

【お知らせ】会報「政経かながわ」 に会員企業の新商品の紹介、地域 貢献活動、人事などジャンルを問 わずさまざまな会員情報を掲載し ています。掲載の問い合わせなど は事務局☎045(226)2121。



# 選挙は最後まで分からない

政への評価が主な争点だ。 を上げている。3期12年の福田 か、元市議ら複数の新人が名乗り 現職で4選を狙う福田紀彦氏のほ 川崎市長選が12日に告示された。

まとなっては自分の取材力の低さ 後輩記者と取材を重ねていた。い て現場責任者(キャップ)を務め した市長選では、川崎支局長とし 12年前、福田氏が初当選を果た

> 恥じるばかりだが、選挙戦終盤ま や、世論の動きを見る目のなさを 僚候補が当選するだろうと高をく で福田氏ではなく、対抗馬の元官

など主要政党が軒並み推薦し、労 補は現職市長の後継候補との位置 大きかったからである。元官僚候 両候補の支援体制の差が非常に 自民党や公明党、民主党

> た。川崎市議60人のうち8割程度 まさに「盤石の体制」を敷いてい

長か市民市長か」「チェンジ」の る政策を訴えると共に、「官僚市 待機児童ゼロと中学校給食導入と 市民に響いたようだ。 フレーズを効果的に使ったことが いった大都市の子育て世代が求め 対する福田氏は2度目の挑戦と 組織は脆弱。 しかし、

巻き始めたが、時既に遅し。蓋を 開けてみれば、福田氏と元官僚候 紙面降版の締め切り時間に間に合 ていたが、なかなか差がつかず、 戦となった。取材現場の責任者と はわずかに1ポイント以下という 補の票差は2858票、得票率で 補の陣営も最終盤になってネジを して「当選確実」を打つ役目も担っ 大都市の選挙ではまれに見る大接 「楽勝ムード」だった元官僚候

働団体の連合神奈川も支えるなど ている。選挙は最後まで分からな うのか、 い、ということをあらためて実感 した選挙でもあった。 ヒヤヒヤしたことを覚え

表れだったのだろう。 徒手空拳で戦い、勝利した自負の 自らを「ボート」に例えていた。 組織の大きな相手を「艦隊」に、 ふるっていたことも印象に残る。 「艦隊と手こぎボートの戦い」 当選後の福田氏のコメントが

か。市民の審判は26日に下される。 令市で 6位の人口を誇る。 19年には神戸市を抜いていまや政 進む中、川崎市は15年に京都市、 氏陣営が「艦隊」である。 人口減が で3選を果たした。いまでは福一 年前は歴代最多の4万票超の圧勝 政党も支持に回った福田氏は、 (神奈川新聞社地域報道統括部長 万人都市の舵取りを誰に任せるの さてその後、対立していた主要 1 5 5 4